

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ツインレイズ			
○保護者評価実施期間	2025年1月17日		～	2025年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名 (25件)	(回答者数)	19件
○従業者評価実施期間	2025年1月20日		～	2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数)	11名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月20日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援プログラムの実施	支援プログラムを「ミッション」と称して、一人ひとり毎回必ず実施している。	「ミッション」のバリエーションを拡大させる。 「ミッション」の意図を保護者へ伝える回数や方法を増やす。
2	保護者との情報共有でのSNSの活用	プログラムの取り組み状況や、その日の活動を写真や動画で保護者にお知らせする。	プログラムの意図や進捗状況などのコメントの充実を図る。
3	毎月の「ツインレイズ便り」の発行や、機会を捉えてのアンケート実施	「ツインレイズ便り」では、事業での取り組みの内容を伝え、家庭との連携が図れるようにしている。 アンケートで保護者の評価や希望を募る。	保護者からの提案や希望の具現化

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援としての保護者会等実施	感染症対策のため、参集しての行事を回避	少人数での開催 平日と休日の選択肢の提示
2	支援プログラムの理解度アップと支援計画への反映	5領域に亘るプログラム内容が未定着	情報発信の頻度増加 対面での説明機会の設置
3	外部との交流	感染症対策のため、参集しての行事を回避	地域のイベントへの参加 見学会、体験会への参加